

札幌社会福祉フォーラム 2017

共に生きる社会

— どう取り組み、創っていくのか —

参加
無料

別途お申し込みが
必要です

このフォーラムには要約筆記がつきます。安心してご参加ください。

これまでの福祉は、疾病や障害・介護、出産・子育てなど典型的な要因を想定し、高齢者、障がい者、子どもなど対象者ごとに組み立てられてきたため、制度が「縦割り」で、複雑・複合的なニーズに対応できないという悩みを抱えています。また、超高齢化と人口減少が同時に進行しており、住民が共に支え合う「互助」が必要であることも明らかとなっています。このような中で、国会では地域共生社会の実現に向けた取組の推進を図るため、今年5月に社会福祉法など4本の法律が改正されました。共に生きる社会をどう創っていけばよいのか、皆さんとともに考えていきたいと思えます。

とき **10月21日** 土 時 開場 **12:30** 講演時間 **13:00-16:40** ところ **道新ホール**
(札幌市中央区大通西3丁目道新ビル大通館8階)
●JR札幌駅/JR札幌駅南口より徒歩10分
●地下鉄/「大通駅」より徒歩3分

当日のプログラム

座長 中村 秀一 氏
(一般社団法人 医療介護福祉政策研究フォーラム理事長
国際医療福祉大学大学院教授)



第1部

基調講演

13:15-14:15 60分

「共に生きる地域社会へ ～新しい生活保障～」

講師 宮本 太郎 氏 (中央大学 法学部教授)

地域共生社会のビジョンは、これからの地域福祉のかたちを考える上で決定的に重要なビジョンです。この講演では、まず、地域包括ケアシステム、生活困窮者自立支援制度、共生型ケアなど、このビジョンのいくつかの源流まで遡ってその意義を考えたいと思います。そして、地域ごとに多様なかたちをとりうる地域共生社会が、どこでも実現しなければならない共通の目標は何かを明らかにし、その目標が達成される上でこれから国、自治体、そして社会福祉法人、NPOなどの民間団体が協力して取り組むべき課題を考えます。



講演

14:20-14:45 25分

「なぜいま『地域共生社会』を提案するのか」

講師 野崎 伸一 氏 (厚生労働省 社会保障担当参事官室 政策企画官)

「地域共生社会」を提案する背景やその実現に向けた厚生労働省のこれまでの取組を説明した上で、地域の多様な主体による実践の紹介やそこから見えてくるヒントを探り、そして、今後の政策の方向性と地域の実践への期待について、最新の状況を交えてお話しします。



第2部

パネルディスカッション

15:00-16:30 90分

「共に生きる社会 ～どう取り組み、創っていくのか～」

コーディネーター 堀田 聡子 氏 (慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科教授)

地域の課題解決を「楽しく」演出する道内外の若手実践者とともに、領域・世代を超えたつながりから人と地域の暮らしの安心と未来に向けた希望を育む取組を学びあい、働き方とケア、住まいのかたちなどの視点から「新しい共生の場の構築」に向けたチャレンジを考えます。

パネリスト 野崎 伸一 氏
飯田 大輔 氏 (社会福祉法人 福祉楽団理事長)
猿渡 進平 氏 (医療法人 静光園 白川病院 医療連携室長、介護グループ長)
高橋 信也 氏 (一般社団法人 北海道セーフティネット協議会事務局長)



講師・座長・コーディネーター・パネリストご紹介

【講師】

宮本 太郎 氏
(中央大学 法学部教授)

1958年東京都に生まれる。
立命館大学法学部助教授、ストックホルム大学客員研究員、北海道大学法学部教授を経て2013年より現職。
ほか、安心社会実現会議委員、内閣府参与、総務省顧問、成長戦略実現会議委員、社会保障改革に関する有識者検討会座長、雇用戦略対話有識者委員、社会保障制度改革国民会議委員、中央教育審議会委員などを歴任。

【講師】

野崎 伸一 氏
(厚生労働省 社会保障担当参事官室 政策企画官)

1999年 厚生省(当時)入省 児童家庭局配属
2002年 米国南カリフォルニア大学公衆衛生大学院修士課程修了
2004年 医政局総務課企画法令係長
2007年 障害保健福祉部精神・障害保健課課長補佐
2011年 在アメリカ合衆国日本国大使館一等書記官
2014年 健康局総務課課長補佐
2015年 政策統括官付社会保障担当参事官室室長補佐
2016年6月 現職

【座長】

中村 秀一 氏
(一般社団法人 医療介護福祉政策研究フォーラム理事長
国際医療福祉大学大学院教授)

1973年 厚生省(当時)入省
2002年 厚生労働省老健局長
2005年 社会・援護局長
2008年 社会保険診療報酬支払基金理事長
2010年 内閣官房社会保障改革担当室長(2014年まで)
現職 医療介護福祉政策研究フォーラム理事長
国際医療福祉大学大学院教授

【コーディネーター】

堀田 聡子 氏
(慶應義塾大学大学院
健康マネジメント研究科教授)

厚労科研「住民主体の持続可能な共生型地域づくりとその担い手等に関する研究」代表、介護給付費分科会及び福祉部会、地域力強化検討会等委員を務め、より人間的で持続可能なケアと地域づくりに向けた移行の諸相を研究。

【パネリスト】

飯田 大輔 氏
(社会福祉法人 福祉楽団理事長)

1978年千葉県生まれ。
東京農業大学農学部卒業。千葉大学大学院修了。現在、社会福祉法人福祉楽団理事長。株式会社恋する豚研究所代表取締役。京都大学こころの未来研究センター連携研究員、東京藝術大学非常勤講師。

【パネリスト】

猿渡 進平 氏
(医療法人静光園 白川病院 医療連携室長、
介護グループ長)

1980年福岡県大牟田市生まれ。
同居の祖母が認知症になったことが理由で福祉の道に進む。平成24年 医療法人静光園 白川病院に入社。その後大牟田市地域包括支援センター、厚生労働省社会・援護局の出向などを経て、現職。

【パネリスト】

高橋 信也 氏
(一般社団法人 北海道セーフティネット
協議会事務局長)

1974年生まれ。2007年、新しい地域福祉拠点を提言する「コミュニティハウス 冬月荘」の創設に関わる。2013年から自立を目指す若者と共に高齢者のインフォーマル支援体制を築くため、暮らしの共済サービス事業せつせを創設。

当日販売商品

ノマド福祉会

●さをり織り雑貨
(ストール、がまぐち、ポーチ、アクセサリなど)

はるにれの里

●石鯰「しろろん」、椎茸、パン

浦河べてるの家

●昆布、雑貨、書籍

お申し込み用紙

お申し込み締切り日

2017年10月18日(水)

先着順ですのでお早めにお申し込みください。

●お申し込みはFAXまたはお電話・メールにてお願い致します。

※お申し込みは先着順に受付致します。入場整理券は発行致しません。

※満席となった場合はお断りのご連絡を差し上げますので、電話番号かE-mailアドレスのいずれかをご記入願います。

FAXにてお申し込みの方は

送信先FAX番号

FAX. **011-612-1068**

下記の該当する必要事項をご記入の上、送信してください。

フォーラムご参加人数	名様
フリガナ	
代表者ご氏名	
ご勤務先(学校)名	
ご住所(ご自宅・ご勤務先)	〒
※ ご連絡先(電話番号)	
※ E-mailアドレス	

個人情報の取扱いについて

※個人情報の徹底した管理を行い、当該フォーラム以外には使用しないことを固くお約束いたします。

お電話・メールにてお申し込み・お問い合わせ先

フォーラム事務局

〒060-0010 札幌市中央区北10条西24丁目3番地 AKKビル6F

●電話によるお問い合わせ・受付時間 / 平日 9:00~17:00

●担当 / 松島、三浦

TEL **011-558-7061**

✉ forum@msnw.co.jp

ホームページにもお申し込み用紙が掲載されています

●ノマド福祉会 <http://www.nomad-haru.com/>
●はるにれの里 <http://www.harunire.or.jp/>
●浦河べてるの家 <http://bethel-net.jp/>
●札幌この実会 <http://konomikai.jimdo.com/>

